

「人生会議」を開きましょう

自分が最期まで自分らしく生きる(暮らし続ける)ための準備、いのちの終わりについて話し合いをすること、回復の見込みがない状態となったときにどうしたいのか、自分の考えや希望を大切な人・信頼できる人と話し合うことを

人生会議(アドバンス・ケア・プランニング ACP)

といいます。人生の最終段階では、水分や食物を摂れなくなったり、呼吸が苦しくなったりします。以下には、そのような状態になったときにおこなう医療行為について簡単に説明してあります。わからないことは、遠慮なくかかりつけ医にご相談ください。大切なことは

1度で決めない、1人で決めない

ことです。「人生会議」を開いて、大切な人・信頼できる人と折に触れて話し合いましょう。「今は、考えたくない、決めたくない」という選択でもかまいませんが、自分の意思の表明である「最後まで自分らしく生きるための希望表明書(リビングウィル)」は、とても大切です。



治療をしても回復が見込めない状態になったときの「延命治療」について

✓ 心臓マッサージなどの心肺蘇生

心肺蘇生とは、呼吸や心臓が止まったときに救命のためにおこなわれる胸骨圧迫(心臓マッサージ)気管挿管(口や鼻から気管に管を入れる)、気管切開(喉仏の下のあたりに穴をあけて直接気管に管を入れる)、などをいいます。

✓ 延命のための人工呼吸器

気管に通した管に取り付けた機械から空気を送り込み、呼吸を助けます。



✓ 鼻チューブ/胃ろうによる栄養補給

鼻チューブや胃ろうを用いて、栄養を補給できます。

鼻チューブ

鼻から胃または腸まで届くチューブを入れて、栄養剤などを注入します。



胃ろう

内視鏡を使っておなかと胃の壁に小さな穴を開け、つけたチューブから流動食などを注入します。



✓ 点滴治療

- ・腕や足から点滴のための針を刺して水分補給をおこないます。(栄養はほとんどありません)
- ・口から薬が飲めないときに、点滴を用いて体内に入れることができます。

✓ 苦しみや痛みに対する治療

- ・鎮痛剤(医療用麻薬)で苦しみや痛みは、やわらぎます。(副作用で呼吸が弱くなる場合があります)



わからないことは、かかりつけ医に遠慮なくご相談ください



自分らしく生きるための希望表明書

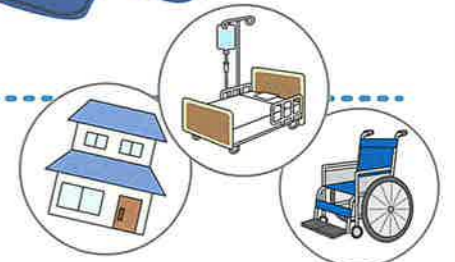
お名前 _____

人生会議の進め方

STEP 1 考えてみましょう

1

これからのあなたの生活や住まい、医療やケアなど、あなたの希望や思いについて考えてみましょう



STEP 2 相談しましょう

2

かかりつけ医に相談して、あなた自身が病気のことを知ることが大切です。できれば、家族や友人など信頼できる人と一緒に医師の説明を受けましょう。

STEP 3 代理人を選びましょう

3

予期しない災害や突然の病気で、あなたの希望や思いを伝えることができなくなるかもしれません。そのような場合に備えて、あなたの希望や思いを伝えてくれる人(代理人)を決めておきましょう。

STEP 4 繰り返し話し合いましょう

4

あなたの希望や思いについてあなた一人で決めずに、信頼できる家族や友人、かかりつけ医やケアチームと一緒に話し合いをして共有しましょう。あなたの希望や思いが変わったときには、その都度、人生会議を開きましょう。

STEP 5 書面に残しましょう

5

人生会議で話し合った内容を書面に残しましょう。希望や思いは時間と共に変化したり、健康状態によって変わる可能性があります。何度でも書き直して構いません。

問い合わせ先

諏訪市地域医療・介護連携推進センター(ライフドアすわ)

TEL: 0266-78-0477 FAX: 0266-78-0478

email: info@lifedoor-suwa.jp

